

兵庫県立芸術文化センタープロデュース

はじめての日本舞踊



五耀會(左から山村若、花柳基、西川箕乃助、藤間蘭黄、花柳寿楽) 撮影:篠山紀信

一 常磐津

大和因子

西川箕乃助 藤間蘭黄

二 上方唄

ぐち

山村若

三 長唄 連獅子

花柳基 花柳寿楽

演出振付

藤間蘭黄

作曲・作詞

杵屋勝四郎(村治崇光)

作調

藤舎呂英

四 創作長唄

徒用心

あだ よう じん

「セビリヤの理髪師」より

西川箕乃助

花柳寿楽

花柳基

藤間蘭黄

山村若



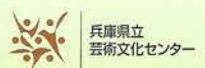
ナビゲーター 桂 吉坊

2014 2/1 [土] 2:00PM開演 (1:30PM開場)

全席指定 4,000円(税込)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)



兵庫県立
芸術文化センター

一般発売 チケット取扱・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

10月20日 [日]

芸術文化センター会員先行予約受付開始 10月17日 [金] ※窓口での販売(残席がある場合)は10月22日(火)より インターネット予約 <http://www.gcenter-hyogo.jp>

主催:兵庫県 兵庫県立芸術文化センター 企画・製作:兵庫県立芸術文化センター 制作:五耀會 兵庫県立芸術文化センター

はじめての日本舞踊

ビギナーも劇場ファンも日本舞踊の美しさ、楽しさに魅せられる

大好評の「はじめてのお能」「はじめての京劇」などの「はじめて」シリーズに新企画が誕生!

「はじめての日本舞踊」には、名実共に日本舞踊界を背負って立ち、五耀會 www.goyokai.com を結成する精鋭舞踊家が登場! お楽しみに!!

日本舞踊は「舞楽」「能楽」の要素は勿論、さまざまな民族芸能のエッセンスが洗練された形で含まれる舞台芸術です。

日本人の美意識が息づく「日本舞踊」は、外国での公演は絶大な支持を得ていますが、生活習慣が変わり(和服⇒洋服 畳⇒フローリング)、稽古事としてポピュラーではなくなった日本では、鑑賞対象としての「日本舞踊」が一般的にあまり知られていません。そこで、そのような状況、閉鎖的になりがちな日本舞踊界に風穴を開けるべく流派を超えて五耀會を結成しているのが「はじめての日本舞踊」に出演する五名です。その華と実力を高覧ください。



西川箕乃助 にしかわみのすけ

西川流十世宗家西川扇藏(人間国宝)の長男として生まれる。国際化の時代と日本舞踊の将来のためにロンドン大学SOASへ留学、ついでラバンセンターに入学し、モダンダンス・バレエ・舞踊理論を専攻するという異色の経歴を持つ。平成5年より日本大学芸術学部演劇学科非常勤講師に就任。同年、五代目西川箕乃助を襲名。主宰する「西川箕乃助の会」は13回を数える。伝統を継承しながらも、外国人を対象にした舞踊講習を行い、NHK大河ドラマや映画「陰陽師」などの所作指導にもたずさわる。宝塚歌劇やOSK等、舞台の振付も多数手掛けている。花柳壽應賞新人賞受賞、松尾芸能賞新人賞受賞。



花柳寿楽 はなやぎじゅらく

二世花柳錦之輔の長男として生まれる。幼少より人間国宝である祖父、二世花柳寿楽のもとで手ほどきを受ける。昭和47年、「土蜘蛛」の石神で初舞台を踏む。平成2年、三代目花柳錦之輔を襲名し、平成21年には三代目花柳寿楽を襲名。歌舞伎公演、蛭川幸雄作品の振付に関わる一方、宝塚歌劇やOSK、ジャニーズなど幅広いジャンルの舞踊指導にも力を注いでいる。俳優としてテレビや映画、舞台への出演も多い。また、「花柳寿楽舞踊会」を主宰し、国立劇場養成課の講師なども務める。芸術選奨文部科学大臣賞、文化庁芸術祭新人賞、花柳壽應賞新人賞、舞踊批評家協会新人賞、松尾芸能賞新人賞を受賞。



花柳基 はなやぎもとい

母・花柳秀、6歳からは二世花柳寿楽師に師事する。花柳流花柳会理事。また日本大学芸術学部演劇学科、日本体育大学武道学科、埼玉県立芸術総合高校で非常勤講師を務め、欧米、南米、アジア、中近東に於いても公演する等、様々な活動を続けている。主宰する「基の会」では花柳流の作品を中心とした古典の研鑽を重ねると共に創作やこれからの日本舞踊を見つめた新作も手がけ、それぞれに高い評価を受けている。芸術選奨文部科学大臣賞、同新人賞、花柳壽應賞新人賞、舞踊批評家協会賞、同新人賞、(株)日本舞踊協会主催新春舞踊大会文部大臣賞、松尾芸能賞新人賞など数々の賞を受賞。



藤間蘭黄 ふじまらんこう

日本舞踊家藤間蘭景の長男として生まれる。人間国宝である祖母・藤間藤子、母・蘭景の手ほどきを受ける。昭和43年、第20回「紫紅会」にて初舞台。同53年、「藤間蘭黄」の名を許される。平成4年より毎年、「蘭黄の会」を主宰する。アメリカ、ヨーロッパ、アジア、中東など国内外の舞踊公演を精力的にこなすかわら、NHKドラマ「利家とまつ」「オトコマエ!」、「JIN -仁-」など、テレビの所作指導にも手腕を発揮している。また、国内外の舞踊コンクールの審査員を務めている。文化庁芸術祭新人賞、花柳壽應賞新人賞、舞踊批評家協会新人賞、松尾芸能賞新人賞を受賞。



山村若 やまむらわか

宝塚歌劇団脚本演出家植田紳爾と、山村流五世宗家山村系の長男として大阪に生まれる。平成4年、六世宗家山村若を襲名する。一門の「舞扇会」を毎年主催する他、「山村若の会」では古典の伝承と創作活動にも取り組んでいる。上方舞の若きリーダーとして歌舞伎、文楽、宝塚歌劇、OSKや商業演劇などの振付・舞踊指導で意欲的に活躍する。また、「第5回ベスト・ファーザーin関西」学術・文化部門にて受賞、日本舞踊を通じた地域に根ざす活動も注目されている。芸術選奨文部科学大臣賞、同新人賞、文化庁芸術祭優秀賞、同新人賞、花柳壽應賞新人賞、舞踊批評家協会新人賞を受賞している。



桂吉坊 かつらきちぼう (ナビゲーター)

1981年兵庫県西宮市生まれ。99年に桂吉朝に入門。同年、岡町落語ランドにおいて「東の旅〜煮売屋」で初舞台。2000年4月より桂朝のもとで内弟子修行、03年4月に内弟子を卒業。以後、古典落語を中心に出演。07年にはG2プロデュースの舞台「地獄八景浮世百景」で役者デビュー。08年公開の映画「能登の花ヨメ」で謎の旅人として映画デビュー。11年、咲くやこの花賞を大衆芸能部門で受賞。
<http://www.kichibo.net/>

2014 2/1 [土] 2:00PM開演 (1:30PM開場) 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

全席指定 4,000円(税込)

チケット取扱・お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

一般発売

10月20日

芸術文化センター会員先行予約受付開始 10月17日

※窓口での販売(残席がある場合)は 10月22日(火)より

インターネット予約 <http://www.gcenter-hyogo.jp>

チケット予約

- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 430-906] <http://pia.jp/t/>
- ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) 0570-084-005 [Lコード 53873] <http://l-tike.com>
- E+(イープラス) <http://eplus.jp> (パソコン&携帯)

※プレイガイドでのお取り扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。※未就学児はご入場いただけません。※やむを得ない事情により、演目、出演者等が変更となる場合があります。その場合、払い戻し等は行いませんので、予めご了承の上チケットをお買い求めください。

アクセス



○阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結) ※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。
○JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)